

FAX

送付先： 仙台教区内小教区

発信元： 事務局長 小松史朗

要件： 新型コロナウイルスの対応の件 配布先：

カトリック仙台司教区の皆さま

新型コロナウイルス感染に伴う、ミサ等の中止について

連日の新型コロナウイルスによる感染症の拡大と重篤な症例が報告され、厚生労働省の専門家会議から具体的な見解が示され、日本のカトリック教会でもそれぞれの教区で対応が示されています。また、誠に残念なことに本日（29日）、仙台市でも感染者が確認されました。これらを受け、仙台教区でも以下の対策を講じることに致しました。

1. 3月2日（月）から3月20日（金）まで、すべてのミサ（集会祭儀）、集会、講座など、不特定多数の人々が集まる集会を行わないこととします。主日のミサの義務は免除されます。各自で、その日の朗読箇所などを読み、祈るようにして下さい。
2. 結婚式や葬儀などは、担当司祭、関係者と十分な感染防止対策を相談の上、行うようにして下さい。
3. このお知らせを、3月1日（日）四旬節第1主日のミサで周知して下さい。特に外国籍信徒にも可能な限りお知らせ下さい。
4. 東日本大震災犠牲者追悼・復興祈願ミサも中止になることから、カトリック教会内の関連行事等も自粛して下さい。
5. 3月21日（土）以降のことは状況を見たいと考えて居ります。

以上

教会にとって、日々捧げられるべきミサの中止の判断は、容易なことではありません。判断に至った状況の深刻さを、ご理解下さいますようお願い致しますとともに、主イエスのいつくしみを信頼し、すべての人、特に感染している方々の回復と世界的流行の一日も早い終息をともに祈りましょう。

2020年2月29日
カトリック仙台司教区
司教 マルチノ平賀徹夫
